

平成 22 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

1 集落協定の概要

都道府県名：愛媛県

市町村名：松山市

協定締結集落名：元怒和集落

交付金額：5, 304 千円

協定参加世帯数：39 人（うち漁業世帯 39 人）

2 協定締結の経緯

元怒和集落は、良好な漁場を有し、一本釣り、刺し網が盛んで、現在はアワビの養殖も行われている。離島というハンディを抱え、基幹産業である漁業において、漁業者の減少や高齢化が進行している。また、魚価の低迷に加え燃料費の高騰により、厳しい状況におかれている。

こうしたことから、漁場環境の保全、沿岸漁業資源の保護、新規養殖業の導入、漁業集落の活性化、所得の向上を目指して離島交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・キジハタの稚魚(3,000 尾)を放流した。
- ・景観や自然環境を保全するため、集落周辺の海岸清掃を年 2 回実施した。
- ・密漁や違反操業又は違反漁具の使用等から地先資源の保護及び漁具の保全を図るため、漁場監視を行った。(年間 2 回)
- ・有害駆除(エイ)の取組を年間 1 回実施した。

②集落の創意工夫を活かした取組状況

- ・所得の向上と集落の活性化を図るため、水産物の簡易加工(干物等)に共同で取り組み、こうした加工品と鮮魚等をイベントで販売した。
- ・新たにハマチの蓄養に共同で取り組み、蓄養イケスを作成し所得の向上と集落の活性化を図ることにした。
- ・新たにヒジキの養殖試験に共同で取り組み、集落の活性化を図ることにした。

4 取組の成果

- ・キジハタの稚魚を放流したことにより、地先資源の増大が期待される。
- ・海岸及び海底清掃を実施することにより、自然環境の保全が図られた。
- ・漁場監視を実施することにより、地先資源の保護が図られ、違反操業の減少が期待される。
- ・新たにハマチの蓄養、ヒジキ養殖及び水産物の簡易加工に共同で取り組むことにより、地域コミュニティの活性化が図られるとともに、イベントで加工品を販売することにより都市住民との交流が図られた。

稚魚の放流（キジハタ）	加工販売
	
加工販売	ヒジキの養殖試験
	